MITSUBISHI

1302875HC7503

三菱太陽光発電システム パワーモニター エコガイドTV 中継機

DIAMONDSOLAR
ダイヤモンドソーラー

形 名
PV-DRT02

お客様用
販売店・工事店様用

取扱説明書(保証書付)／ 据付工事説明書

＜販売店・工事店様へ＞

この製品の性能･機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。

据付工事の前に、この説明書をよくお読みください。

- 据付工事は、必ず第二種電気工事士の資格を有する販売店・工事店様が実施してください。
  間違った工事は、故障や事故の原因になります。
- 据付工事部品は、必ず付属品及び指定の部品を使用してください。
  当社指定の部品を使用しないと、故障や事故の原因になります。
- お客様ご自身では据付けないでください。
  安全や機能の確保ができません。

**据付工事が終ったら、この説明書をお客様に必ずお渡しください。
お使いになる方がいつでも見られるところに、大切に保管してください。**

※本機は、PV-DR003H 専用の中継機です。
PV-DR003G の中継機としてはご使用になれません。

もくじ

共通
安全のために必ず守ること……2
各部のなまえとはたらき、外形寸法図……3

据付工事説明書
中継機の機能……4～5
1. 中継機の登録（ペアリング）……6～10
2. 設置場所の選定と動作確認……11～12
3. 中継機の固定……13
4. 中継機を２台以上使用する場合……14～17
　中継機２台を使用する場合……14～16
　中継機３台以上を使用する場合……17

取扱説明書
ご使用方法……18
お手入れ……18
故障かな？と思ったら……18
保証とアフターサービス……19
仕様……裏表紙
保証書……裏表紙

共通
据付工事説明書
取扱説明書

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

＜お客様へ＞

- **正しく安全にお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読みください。
  なお、ご使用の前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しくお使いください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、パワーコンディショナの取扱説明書とともに大切に保管してください。**
- **保証書は、この説明書の裏表紙になっていますので「引き渡し日・取扱販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。**
- **取扱説明書と保証書は大切に保管してください。**

※この製品は、電波法認証を受けた機器を内蔵しています。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	●**電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電しない** 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
禁止	●**電源コードやプラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない** 感電・ショート・発火の原因になります。
禁止	●**太陽光発電システム（住宅用）以外に使用しない** 火災・けがの原因となります。
禁止	●**医療機関には設置しない** 医用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
禁止	●**人工呼吸器、酸素濃縮装置などの医用電気機器を在宅医療に用いる家屋内では使用しない** 医用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
水ぬれ禁止	●**製品を水につけたり、水をかけたりしない** ショート・感電の原因になります。
分解禁止	●**分解・修理はしない** 火災・感電・けがの原因になります。 分解修理は修理技術者のいる販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。
ぬれ手禁止	●**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因になります。
指示に従う	●**交流 100V で使用する** 誤った電源を使用すると火災・感電・故障の原因になります。
指示に従う	●**電源プラグは、根元まで確実に差し込む** 感電・火災の原因になります。 ※傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
指示に従う	●**電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭きとる** 火災の原因になります。
指示に従う	●**本機は心臓ペースメーカーから 22 ㎝以上離して使用する** 心臓ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

禁止	●**台所など直接炎があたるおそれのある場所では使用しない** 火災の原因になります。
禁止	●**直接炎があたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない** 火災の原因になります。
禁止	●**高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所では使用しない** 火災の原因になります。
禁止	●**無線 LAN、電子レンジ、コードレスフォン、ファクシミリなどの近くで使用しない** 電波干渉、電波障害により、通信ができなくなる原因になります。 壁や扉の材質により通信距離が短くなることがあります。
風呂・シャワー室での使用禁止	●**浴室など湿気の多い場所では使用しない** 火災・感電の原因になります。
指示に従う	●**電気工事は必ず専門の工事店に依頼する** 誤った工事は、感電・火災の原因になります。
指示に従う	●**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く** 感電・ショートによるけがの原因になります。
指示に従う	●**お手入れの際は手袋を着用する** 着用しないとけがの原因になります。
指示に従う	●**お手入れ後の部品の取付けは確実に行う** 落下によるけがの原因になります。

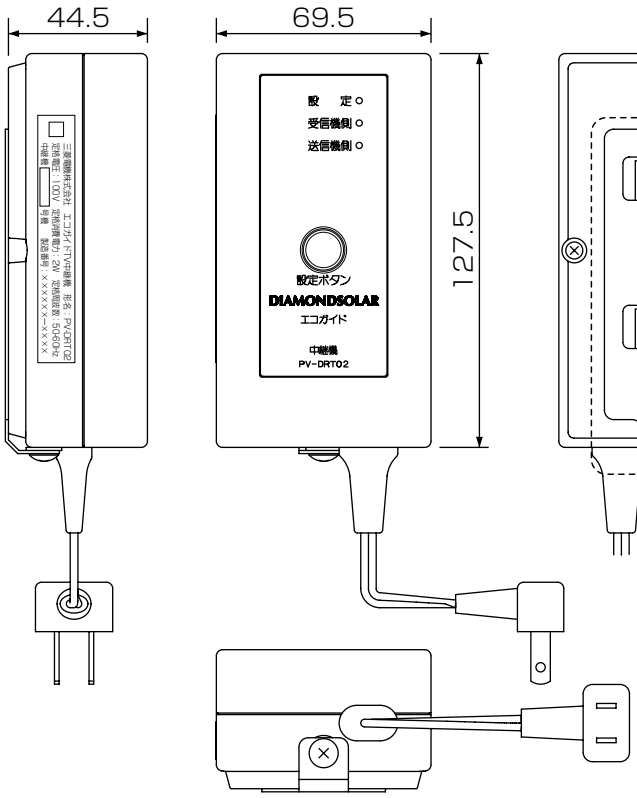
お願い

- 電源コードが高温部分に触れないようにしてください。
- 電源用コードが鋭い角部に触れないようにしてください。
- 屋外または車庫、納屋など屋外に近い環境の場所では使用しないでください。
- 直射日光や強い照明などが当たるところに設置しないでください。
- 周囲温度 0 ～ 40℃、湿度 30 ～ 90%以内の温度変化で結露しない屋内に据付けてください。
- 中継機を浴室の脱衣所、台所に据付ける場合は、直接湯気や蒸気のかかる場所（浴室側扉の上部、洗面台の上部、電気ポットの上部など）には据付けないでください。
- ユニットバス上や天井裏などの密閉された場所には据付けないでください。（通信異常の原因になります）

各部のなまえとはたらき、外形寸法図

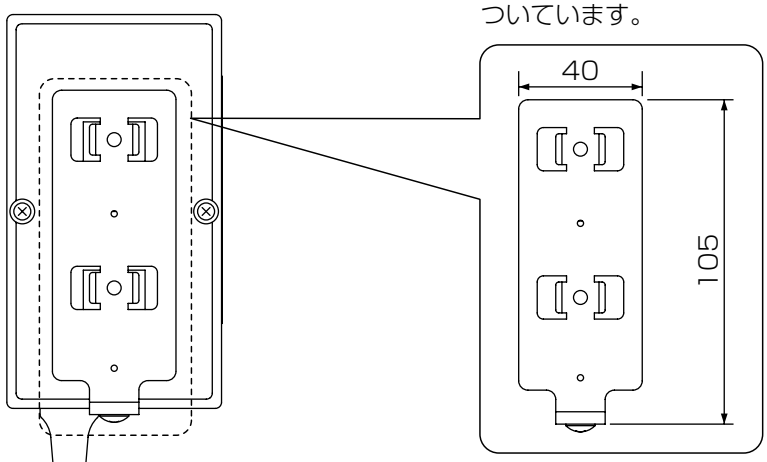
■本体

単位（㎜）



■壁固定用金具

工場出荷時は本体についています。



■電源の入 / 切について

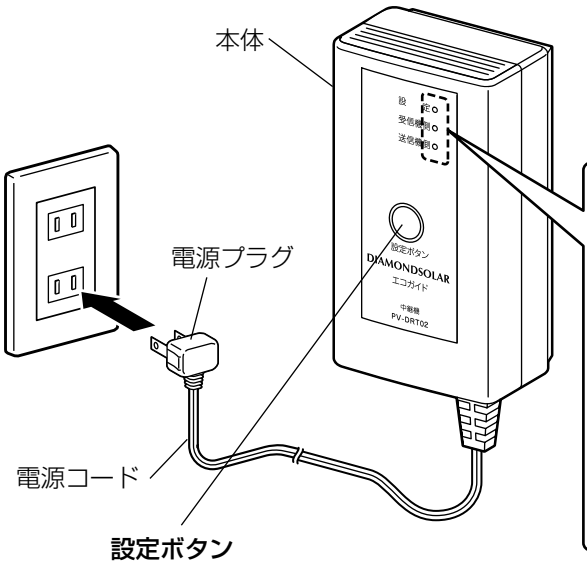
- 本機は電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に電源「入」の状態になります。

ご注意 ●**常時電源を「入」にしてください。**
通信が中継されません。

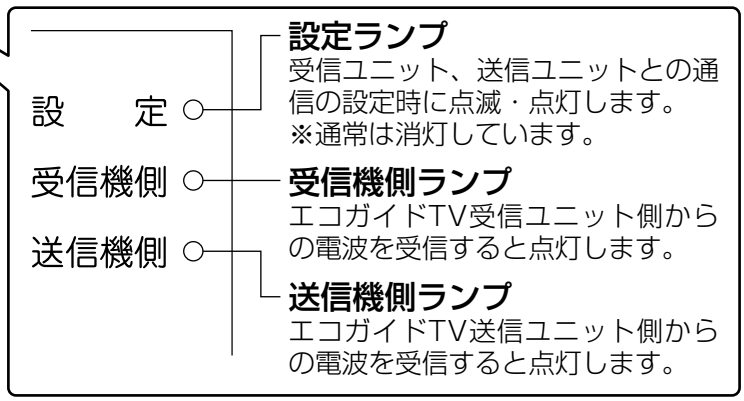
付属品 ●壁固定用ネジ……2個

別途準備するもの

- ボード用アンカー
（石膏ボードなど壁材が弱い場合の補強）



設定ボタン
受信ユニット、送信ユニットとの通信を設定します。
※通信設定は販売店または工事店が行います。
通常、お客様が使用することはありません。



中継機の機能

エコガイドTVの送信ユニットと受信ユニット間の電波が直接届かないとき、中継機を使用することで、電波を中継して通信を可能にします。

●中継機の設置は最大で5台です。
※PV-DR003Gには対応していません。PV-DR003H専用です。

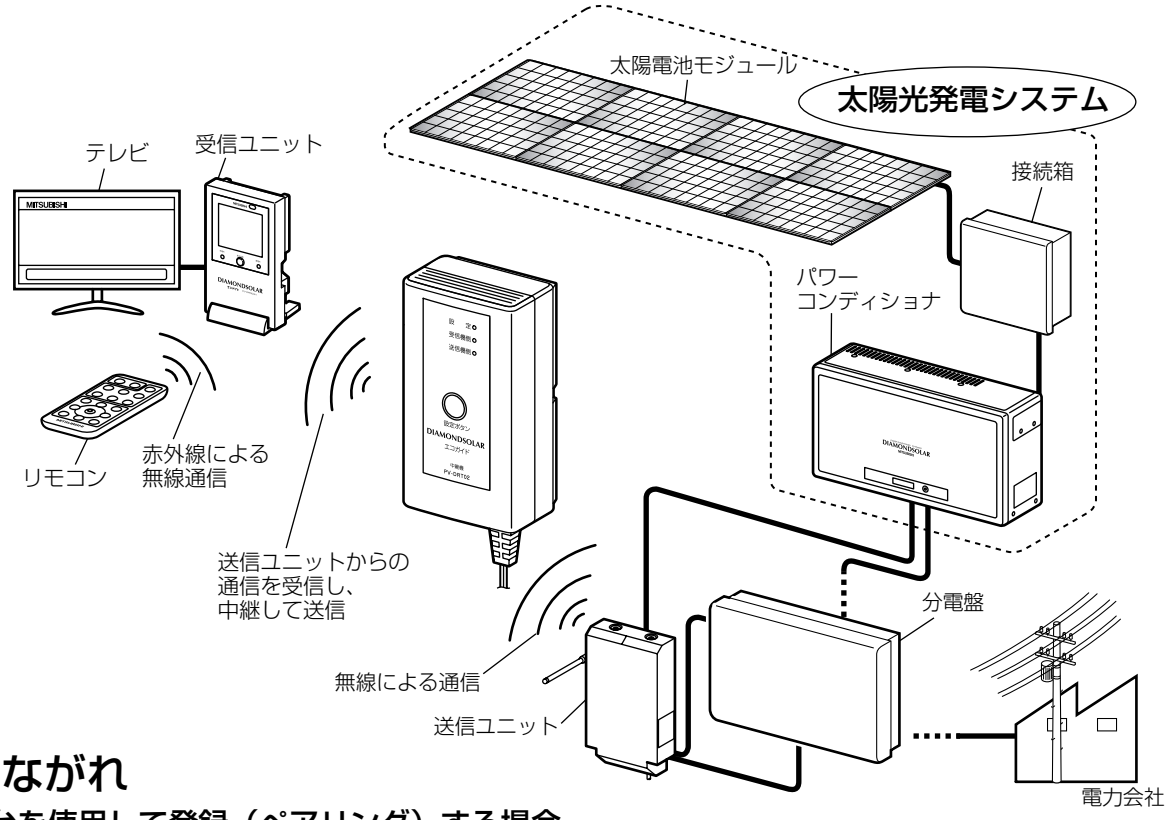
中継機で中継する受信ユニットと送信ユニット間の無線通信について

- 中継機は2.4GHz周波数帯での無線通信を行うため、同じ周波数帯を使う機器の電波に影響する場合があります。
- 受信ユニットと送信ユニット間の無線通信は、障害物のない見通しのよい場所で正面を向き合わせたとき約10m届きますが、両ユニットの設置位置関係、壁や扉などの材質によって通信距離が極端に短くなることがあります。
- 受信ユニットや送信ユニットと中継機の間またはその付近で電波に干渉するおそれのある機器（無線機器や電子レンジなど）を使用した場合、電力や電力量などの値を正しく表示できない場合があります。

中継機を使用しなくなった場合

- 送信ユニットと受信ユニットで登録（ペアリング）を実施してください。
  登録（ペアリング）手順はエコガイドTV（PV-DR003H）据付工事説明書（P32～P33）をご覧ください。

中継機と太陽光発電システムの構成



作業のながれ

中継機1台を使用して登録（ペアリング）する場合

受信ユニットと中継機との登録 P6 ⇨ 送信ユニットと中継機との登録 P8 ⇨ 無線通信の確認の準備 P11 ⇨ 設置予定場所での無線通信の確認 P11 ⇨ OK ⇨ 中継機の固定 P13 ⇨ 完了

NG ⇨ 中継機 2台を使用する場合 P14

NG ⇨ 中継機 3台以上を使用する場合 P17

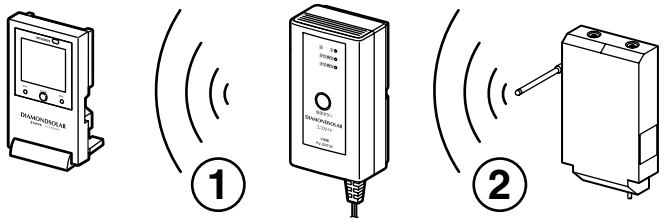
ご注意 設置後に中継機の台数変更したい場合は、あらためて作業をやりなおしてください。

エコガイドTV端末と中継機との登録（ペアリング）について

中継機は、エコガイドTVの端末（送信ユニット、受信ユニット）間の通信において、電波が直接届かない場合にその電波を中継します。

- 中継機を利用するには送信ユニット、受信ユニットとの登録（ペアリング）が必要です。
- 各端末の登録（ペアリング）には順番があります。

受信ユニット＋**中継機（1台）**＋送信ユニットの場合



■各端末の登録（ペアリング）の順番

① 受信ユニットと中継機との登録（ペアリング） P6

② 送信ユニットと中継機との登録（ペアリング） P8

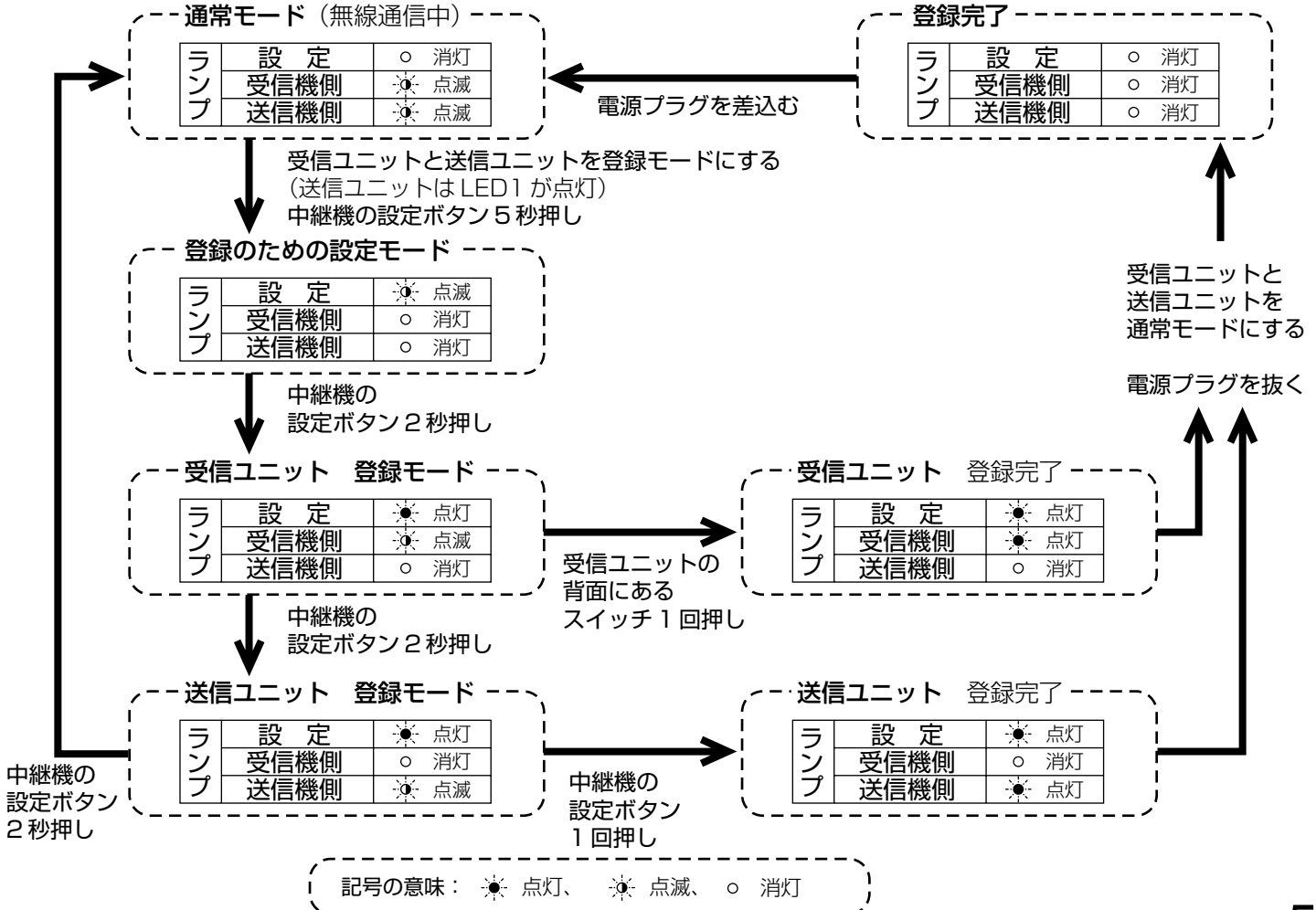
中継機を1台使用する場合

中継機を2台使用する場合 P14　　中継機を3台以上使用する場合 P17

ご注意

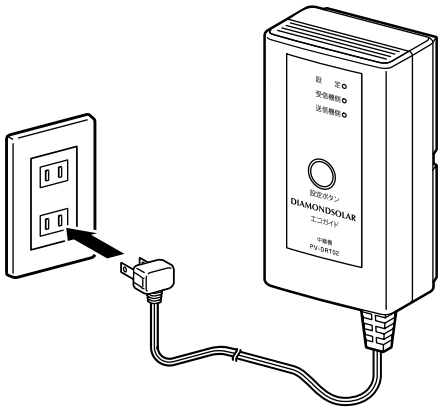
- **登録作業開始前に受信ユニット、中継機、送信ユニットの電源を切ってください。**
  通信が混線し、意図しない機器が登録（ペアリング）されるおそれがあります。
- **登録作業中に5分以上中継機を操作しないと、登録作業が中断されます。**
  登録作業が中断した場合は、中継機のランプが全消灯になります。その場合はいったん電源プラグからコンセントを抜いて電源を切り、10秒以上経ってから再度電源を入れ直し、手順の最初から登録作業を行ってください。
  また、エコガイドTV受信ユニットは、登録（ペアリング）作業中に1分以上経過すると同様に中断されます。

■登録（ペアリング）作業中のランプの状態



1. 中継機の登録（ペアリング）

受信ユニットと中継機との登録（ペアリング）



ご注意
- **受信ユニットの近く（同じ部屋内の2m程度以内）で実施してください。**
- **受信ユニット背面スイッチを押す細い棒をあらかじめ用意しておいてください。**

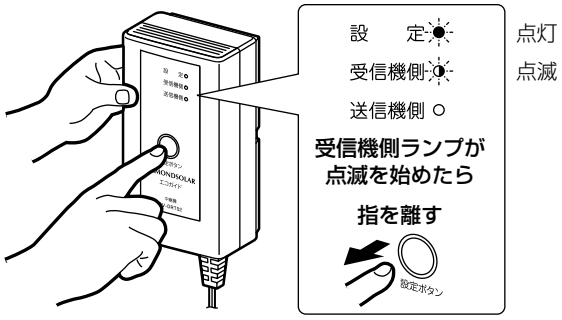
■まずはじめに
- **受信ユニットの電源プラグをコンセントから抜く。**
- **分電盤内にあるエコガイド用のブレーカーを「切」にする。**

1 中継機の電源を入れる

電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2 中継機を登録のための設定モードに変更する

設定ボタンを約５秒間押し続け、設定ランプが点滅を始めたら指を離す。



3 中継機を受信ユニット登録モードへ変更する

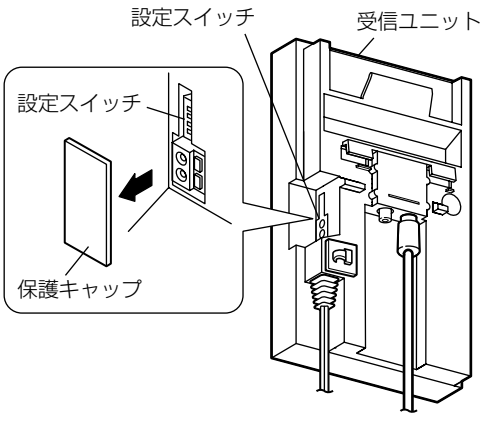
設定ボタンを約２秒間押し続け、受信機側ランプが点滅を始めたら指を離す。

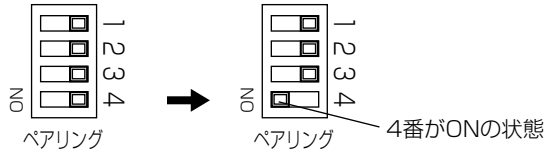
設定ランプは点滅から点灯に変わります。

ご注意
- **5分以内に4～5（1）の操作を行ってください。**
  5分以上時間が経過すると登録作業は中断し、通常モードになります。

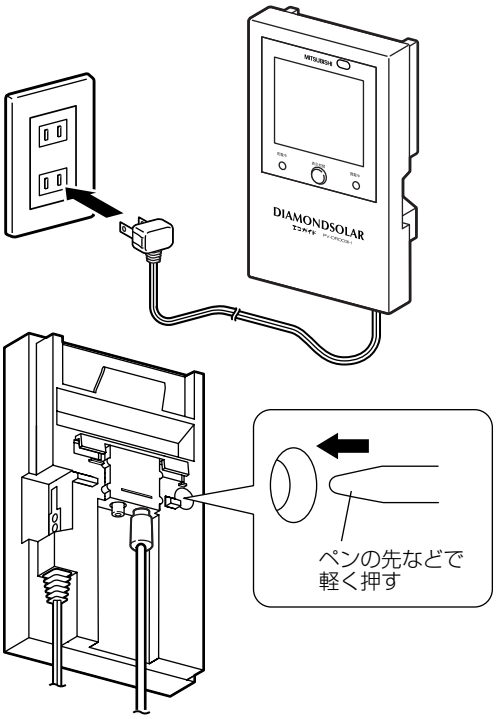
4 受信ユニットを登録モードに変更する

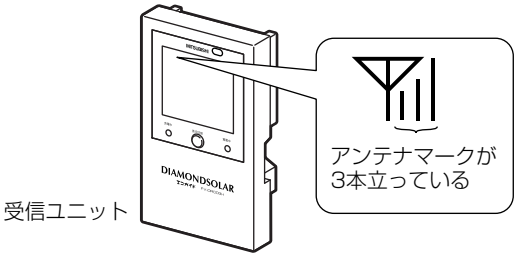
（1）受信ユニットの電源が切れていることを確認し、側面にある保護キャップを取りはずして設定スイッチの４番を ON にする。

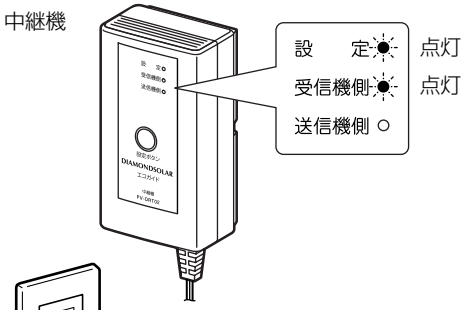


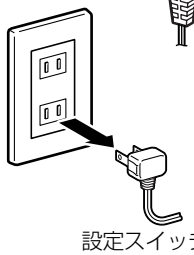


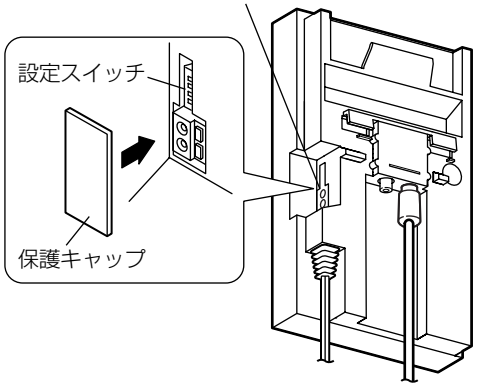
ご注意
- **設定スイッチ４番以外のスイッチは変更しないでください。**
  各スイッチの役割についてはエコガイド TV の取扱説明書を参照してください。
- **受信ユニットの電源が切れていない状態で設定スイッチを操作しても設定できません。**



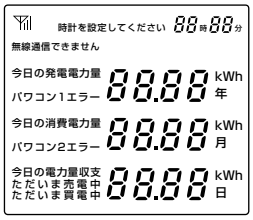








（2）受信ユニットの電源プラグをコンセントに差し込む。
受信ユニットの表示部が下図（全て表示された状態）になります。



ご注意 ●受信ユニットの表示が上図のようにならない場合は、いったん電源プラグをコンセントから抜いて電源を切り、10秒以上経ってから再度電源を入れてください。

5 受信ユニットと中継機を登録（ペアリング）する

（1）受信ユニットの背面にあるスイッチを細い棒などで押す。
スイッチが押されると「ピッ」と音が鳴ります。

ご注意 ●受信ユニット電源投入後1分以内に押してください。

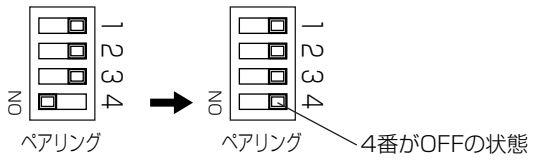
（2）受信ユニット表示部（アンテナマーク（ ）のみ表示）と、中継機のランプ（設定ランプ、受信機側ランプが点灯）を確認する。

ご注意 ●受信ユニットの表示が左図（受信ユニット）のようにならない場合は、いったん電源プラグをコンセントから抜いて電源を切り、最初から作業をやり直してください。
●中継機のランプが左図（中継機）のように点灯しない場合は、いったん受信ユニットと中継機の電源プラグをコンセントから抜いて電源を切り、最初から作業をやり直してください。

6 中継機の電源プラグをコンセントから抜き、電源を切る

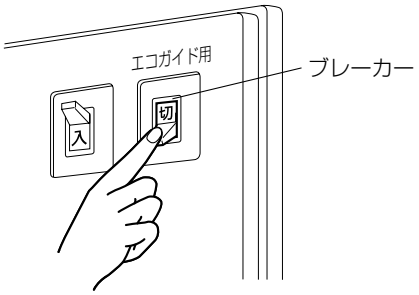
7 受信ユニットを通常モードに戻す

（1）受信ユニットの電源プラグをコンセントから抜く。
（2）受信ユニットの側面にある設定スイッチの４番をOFFにして、保護キャップを元通り取付ける。



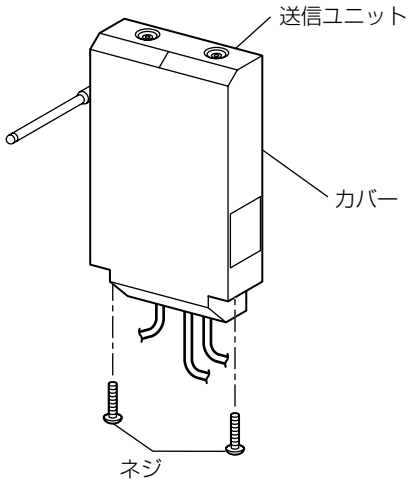
1. 中継機の登録（ペアリング） つづき

送信ユニットと中継機との登録（ペアリング）



接続されたパワーコンディショナのすべてが以下のようになっていることを確認する。

- 運転切換スイッチが「停止」
- 直流側開閉器が「切」



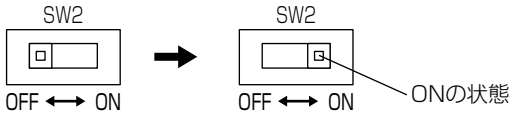
1 送信ユニットを登録モードにする

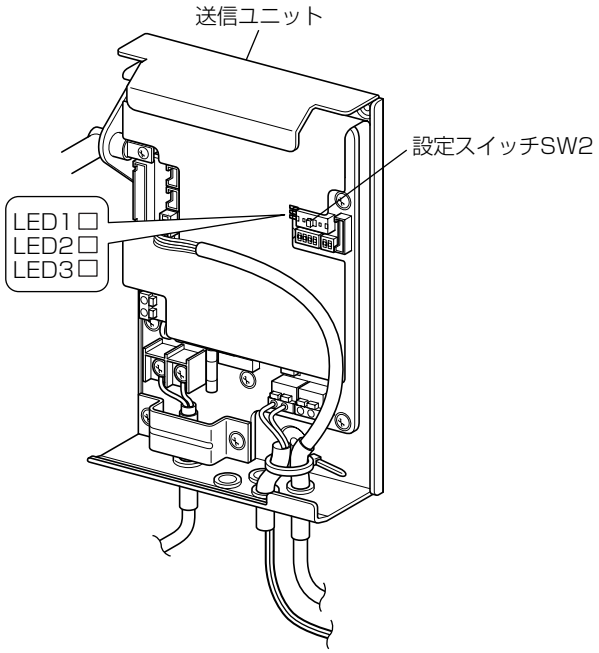
（1）分電盤内のエコガイド用ブレーカーが切れていることを確認する。

（2）送信ユニットのネジ２本をはずし、カバーをはずす。

詳しくはエコガイドTVの据付工事説明書を参照してください。

（3）送信ユニットの設定スイッチ（SW2）をONにする。





2 送信ユニットを登録モードで起動する

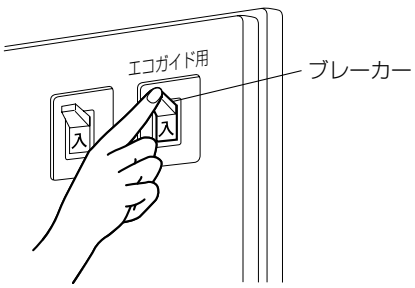
（1）分電盤内のエコガイド用ブレーカーを入れ、送信ユニットの電源を入れる。

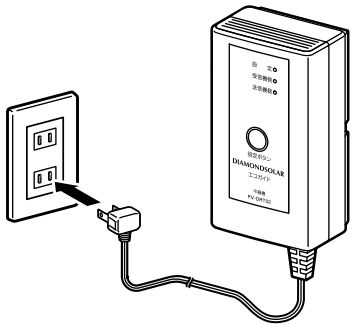
（2）送信ユニットのLED1が点灯していることを確認する。

点灯するのはLED1のみです。

ご注意

- **LED1以外が点灯している場合はエコガイド用ブレーカーを切り、設定スイッチ（SW2）の設定を確認してください。**
  確認後、ブレーカーを切ってから10秒以上経ったことを確認して再度ブレーカーを入れてください。
- **接続されたパワーコンディショナのすべてが以下のようになっていることを確認する。**
  - 運転切換スイッチが「停止」
  - 直流側開閉器が「切」





3 中継機の電源を入れる

電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ご注意 ●送信ユニットの近く（同室内の 2m 程度）で実施してください。

4 中継機を登録のための設定モードに変更する

設定ボタンを約 5 秒間押し続け、設定ランプが点滅を始めたら指を離す。

5 中継機を送信ユニット登録モードに変更する

（1）設定ボタンを約 2 秒間押し続け、受信機側ランプが点滅を始めたら指を離す。

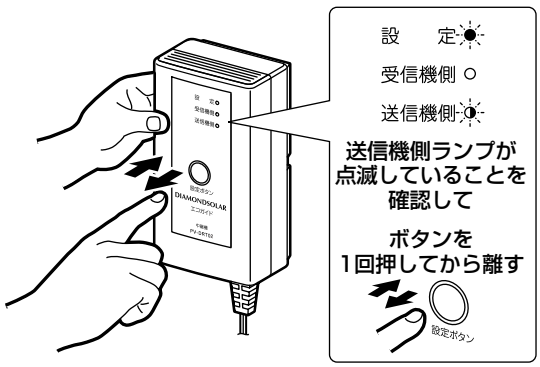
設定ランプは点滅から点灯に変わります。

ご注意 ●5 分以内に 5 (2) ～ 6 (1) の操作を行ってください。

5 分以上時間が経過すると登録作業は中断し、中継機が通常モードになります。

（2）設定ボタンを約 2 秒間押し続け、送信機側ランプが点滅を始めたら指を離す。

設定ランプは点灯したままで、受信機側ランプは消灯します。

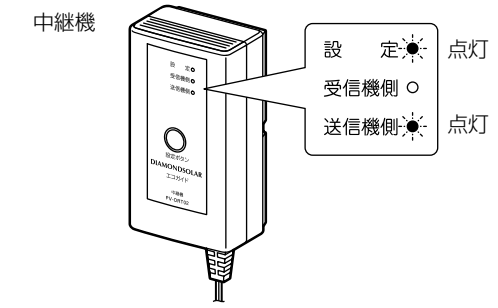


6 送信ユニットと中継機を登録（ペアリング）する

（1）送信機側ランプの点滅を確認し、再度設定ボタンを 1 回押す。

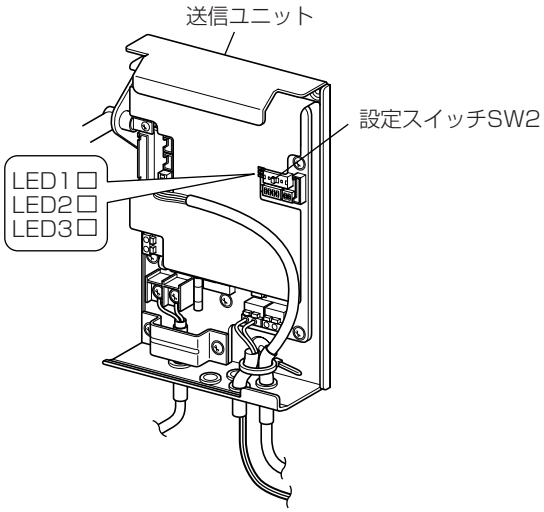
押し続けないでください。

1. 中継機の登録（ペアリング） つづき



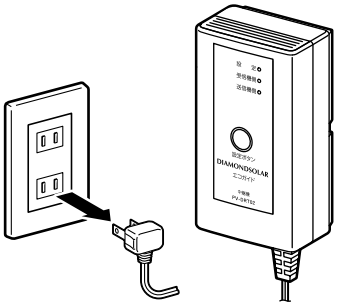
（2）中継機のランプ（設定ランプ、送信機側ランプが点灯）を確認する。

ご注意 ●中継機のランプが左図のように点灯しない場合は、いったんエコガイド用ブレーカーを切り中継機の電源プラグをコンセントから抜いて電源を切ってください。
電源を切って10秒以上経ってから、手順1から再度登録を行ってください。

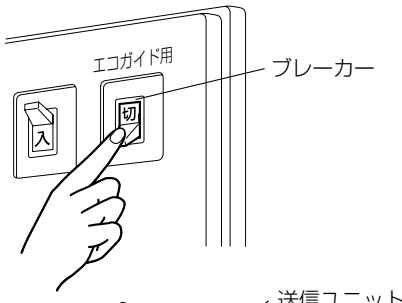


（3）送信ユニットのLED1が消灯していることを確認する。

ご注意 ●送信ユニットのLED1が消灯していない場合は、いったんエコガイド用ブレーカーを切り中継機の電源プラグをコンセントから抜いて電源を切ってください。
電源を切って10秒以上経ってから、手順1から再度登録を行ってください。



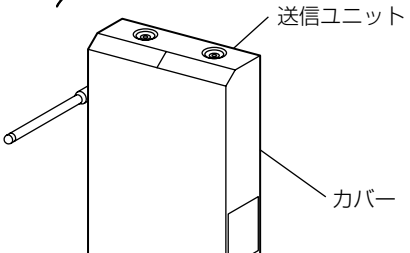
7 中継機の電源プラグをコンセントから抜いて中継機の電源を切る

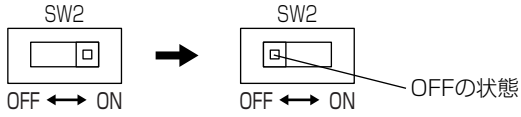


8 送信ユニットを通常モードに戻す

（1）分電盤内のエコガイド用ブレーカーを切って送信ユニットの電源を切る。

（2）送信ユニットの設定スイッチ（SW2）をOFFにする。



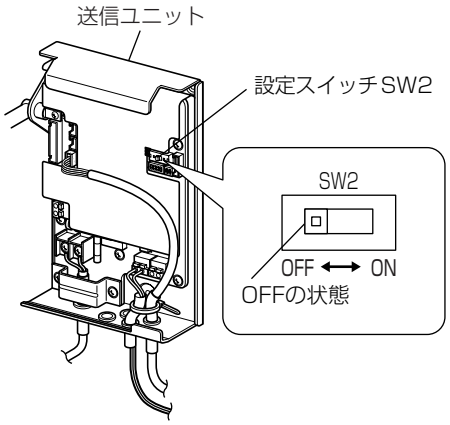


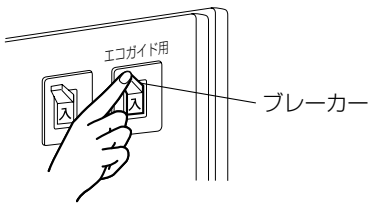
9 送信ユニットのカバーをネジ２本で元通り取付ける。

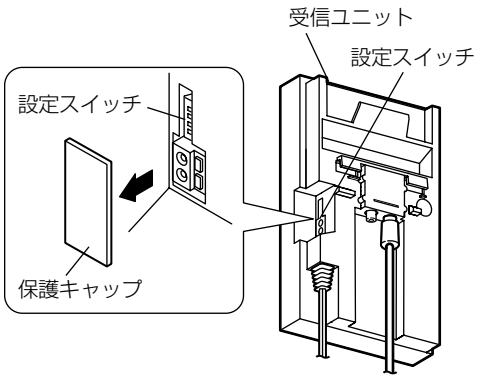
2. 設置場所の選定と動作確認

中継機にはアンテナマークがありませんので受信ユニットのアンテナマークで確認し、中継機の設置場所を選定します。

無線通信の確認の準備







1 **送信ユニットの設定スイッチ（SW2）が OFF になっていることを確認し、カバーを元通り取付ける**

2 **パワーコンディショナの直流側開閉器が「入」、パワーコンディショナの運転スイッチが「停止」になっていることを確認する**

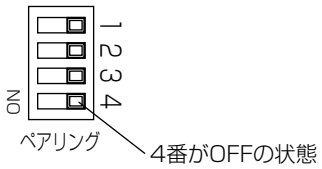
3 **IH クッキングヒーターなど 200V の家電製品を運転させる**

※ 200V の家電製品が無い場合は、全ての部屋の照明を点灯してください。

4 **分電盤内のエコガイド用ブレーカーを入れ、送信ユニットの電源を入れる**
送信ユニットのアンテナは送信ユニットに対して直角に立てる

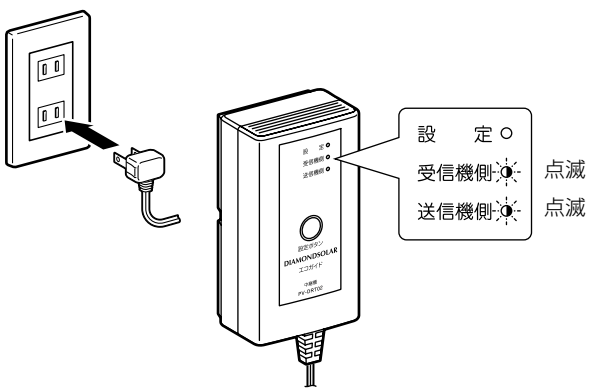
5 **受信ユニットの側面にある保護キャップを取りはずして設定スイッチの 4 番が OFF になっていることを確認する**

保護キャップを元通り取付ける。



6 **受信ユニットの電源プラグをコンセントに差し込み電源を入れる**

設置予定場所での無線通信の確認



1 **中継機の電源プラグをコンセントに差し込み電源を入れ、ランプの点滅を確認する**

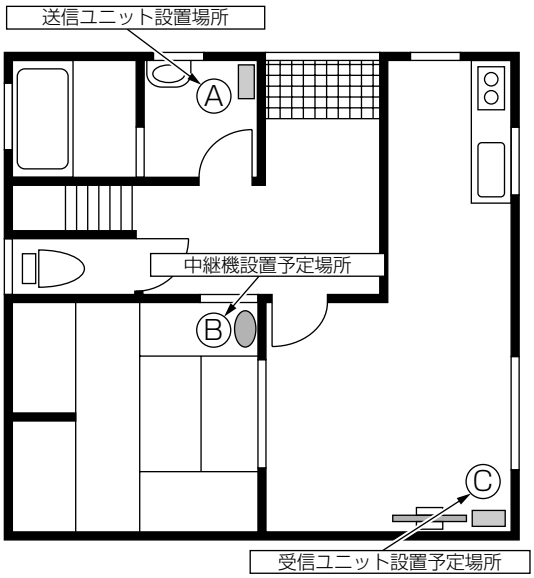
- 中継機を複数台使用している場合はすべての中継機の電源を入れてください。
- 受信機側 · 送信機側ランプが点滅を始めるまで、約 10 秒かかります。（設定ランプは点灯しません）
- 受信機側 · 送信機側ランプは、通信できている時は通常約 3 秒ごとに点滅します。

2. 設置場所の選定と動作確認　つづき

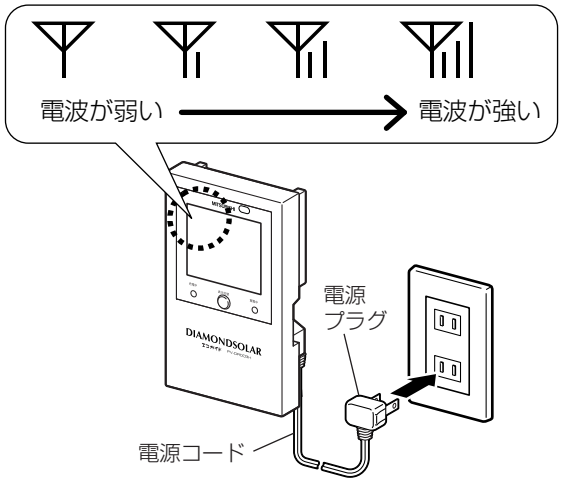
2 無線通信の電波強度確認

受信ユニットと中継機を設置する場所を選定します。

●中継機の設置場所



●アンテナマークと電波の強弱の関係



（1）中継機設置場所選定

中継機を設置する場所を選定します。
分電盤内のエコガイド用ブレーカーが切れていることを確認してください。

●中継機には、アンテナマークが表示されないので受信ユニットのアンテナマークで確認します。

①中継機を送信ユニット付近Ⓐに置き、電源プラグをコンセントに差し込む。（同室内 2m 以内）

②受信ユニットを中継機設置予定場所Ⓑへ置き、電源プラグをコンセントに差し込む。

③受信ユニットのアンテナマークを確認する。

●扉の開閉などを行っても、アンテナマークが安定して 𝕋 または 𝕋 となる場所を探して中継機設置予定場所Ⓑとしてください。

④受信ユニットと中継機の電源プラグを抜く。

（2）受信ユニット設置場所選定

中継機設置場所と受信機設置予定場所での通信確認を行います。
分電盤内のエコガイド用ブレーカーが切れていることを確認してください。

①中継機を中継機設置予定場所Ⓑへ移動し、中継機の電源プラグをコンセントに差し込む。

②受信ユニットを受信ユニット設置場所Ⓒへ置き、受信ユニットの電源プラグをコンセントに差し込む。

③受信ユニットでアンテナマークを確認する。

●扉の開閉などを行っても、アンテナマークが安定して 𝕋 または 𝕋 となる場所で使用してください。

●アンテナマークが安定して 𝕋 または 𝕋 となる場所が無い場合は、中継機をもう 1 台設置してください。

P14

（3）通信確認（全体の確認）

最終設置予定場所に設置したら、各機器の電源を入れてください。
中継機の受信機側ランプ、送信機側ランプが約 3 秒間隔で点滅していることを確認してください。
点滅していない場合は、電源と距離を確認したうえで再度登録を行ってください。P5
受信ユニットに「無線通信できません」との表示がないことを確認してください。

3 受信ユニットの消費電力、買電電力の表示を確認する

● IH クッキングヒーターなど 200V の家電製品を停止して消費電力が減ることを確認する。

ご注意
●受信ユニットに「無線通信できません」と表示された場合は、各機器の電源を確認してください。
●受信ユニットと中継機、中継機と送信ユニットの距離が離れすぎていないか確認してください。距離が10m以上離れると通信できなくなる可能性があります。

4 パワーコンディショナの運転切換スイッチを「停止」から「連系運転」に切換える

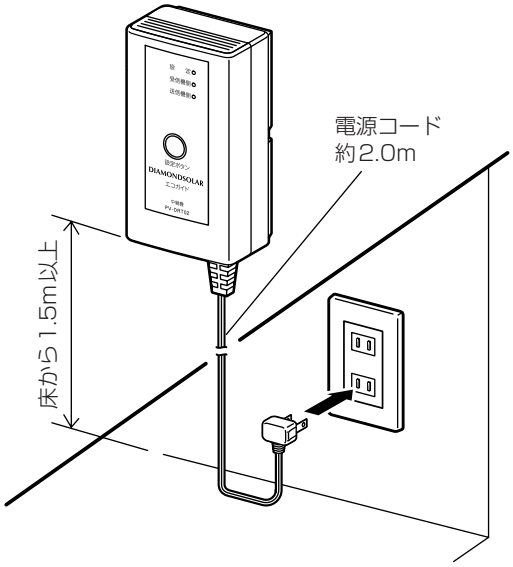
●パワーコンディショナの直流側開閉器が「入」、分電盤の太陽光発電用ブレーカーが「入」であること。
●発電までのカウントダウンを待つ。

5 パワーコンディショナが発電したら、受信ユニットの表示を確認する

●発電電力量 kWh が増加することを確認してください。

3. 中継機の固定

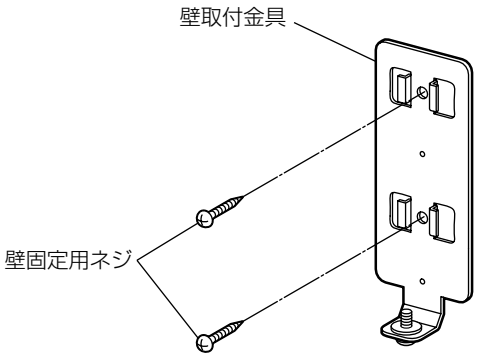
中継機の固定



中継機を壁に取付けます。

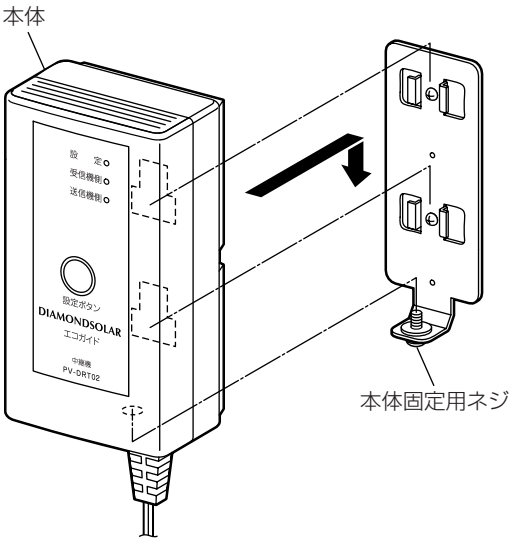
- 床から 1.5m 以上の高さに設置してください。
- 壁取付金具と本体を、底面を本体固定用ネジで固定しますので、作業ができるスペースを確保してください。
- 市販のネジで壁に固定する場合は、壁材に合わせたネジをご使用ください。
- 電源コードの有効長は約 2.0m です。

ご注意
- **設置位置がコンセントに近く、電源コードがたるむ場合は、配線カバーを取付けるなど引っかけによる転倒防止の措置をしてください。**
- **電源コードは加工したり、直接壁に固定しないでください。**



1 壁取付金具を壁固定用ネジ２本で壁に固定する

ご注意
- **石こうボード材など壁材の強度が弱い場合は、市販のアンカーなどで補強してください。**



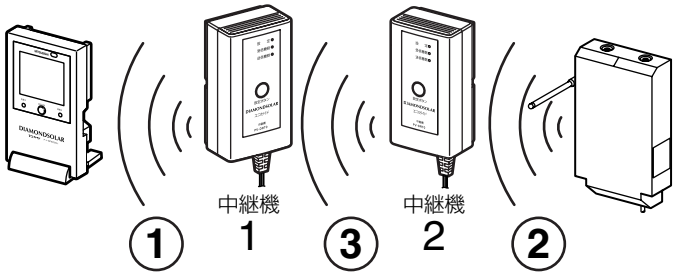
2 壁取付金具に本体背面の溝を合わせて取付け、底面の本体固定用ネジ１本で本体を固定する

4. 中継機を２台以上使用する場合

中継機２台を使用する場合

受信ユニット＋**中継機（2台）**＋送信ユニットの場合

- 登録（ペアリング）は、まず①受信ユニットと受信ユニットに近い中継機をペアリングし、次に②送信ユニットと送信ユニットに近い中継機をペアリングします。
- ①、②の後で、③中継機と中継機の間のペアリングを行います。

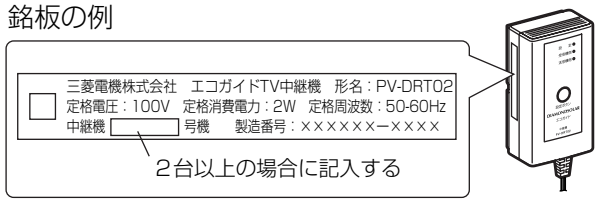


① 受信ユニットと中継機１を登録（ペアリング） P6

② 送信ユニットと中継機２を登録（ペアリング） P8

③ 中継機１と中継機２を登録（ペアリング） P14

銘板の例



銘板の位置

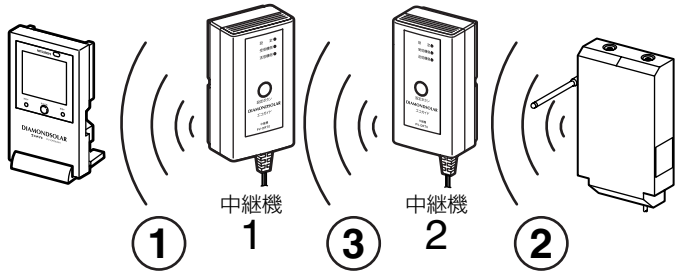
ご注意 **中継機の番号付け**

- **受信ユニットに近い順に登録（ペアリング）して設置するため、順番を間違えないように、あらかじめ中継機に番号を付けてください。**

※中継機側面の銘板にマジックなどで番号を書き込むと分かりやすいです。

- **登録を実施する際は、確実に電波が届く距離（同室内 2m 程度）で実施してください。**

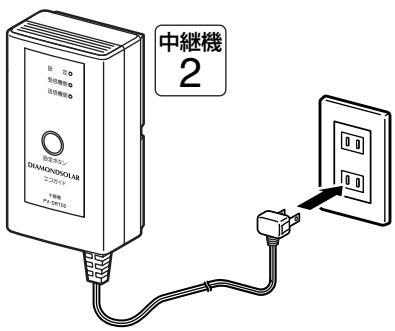
2台使用のイメージ図と登録（ペアリング）の順番



① **P6〜P7 を参照して 受信ユニットと中継機１を登録（ペアリング）する**

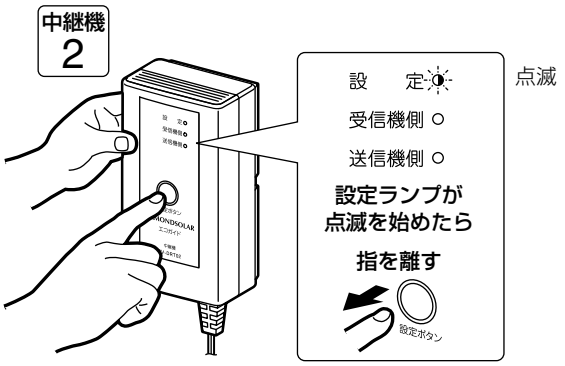
② **P8〜P10 を参照して 送信ユニットと中継機２を登録（ペアリング）する**

③ **中継機1と中継機2を登録**（ペアリング）



1 中継機２の電源を入れる

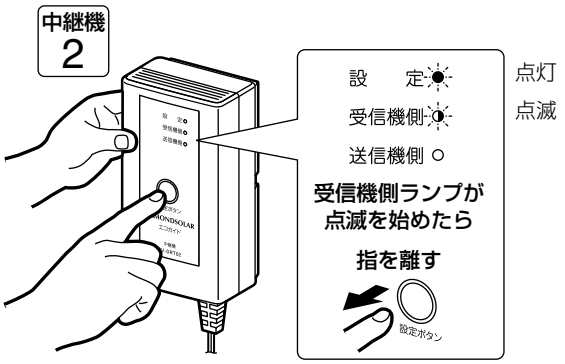
電源プラグをコンセントに差し込んでください。



2 中継機２を登録のための設定モードに変更する

中継機２の設定ボタンを約５秒間押し続け、設定ランプが点滅を始めたら指を離す。

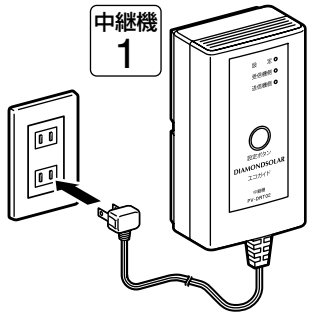
ご注意 ●**５分以内に３～７（1）の操作を行ってください。**
５分以上時間が経過すると登録作業は中断し、通常モードになります。



3 中継機２を受信ユニット登録モードに変更する

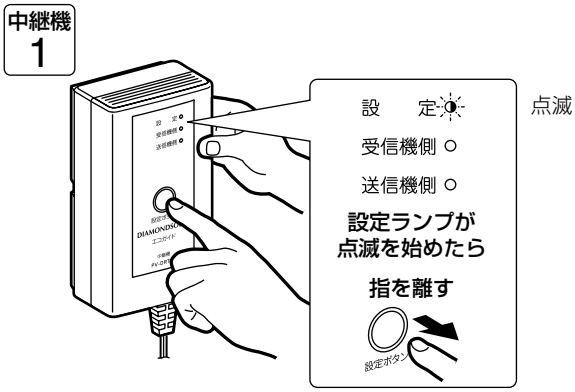
中継機２の設定ボタンを約２秒間押し続け、受信機側ランプが点滅を始めたら指を離す。

設定ランプは点滅から点灯に変わります。



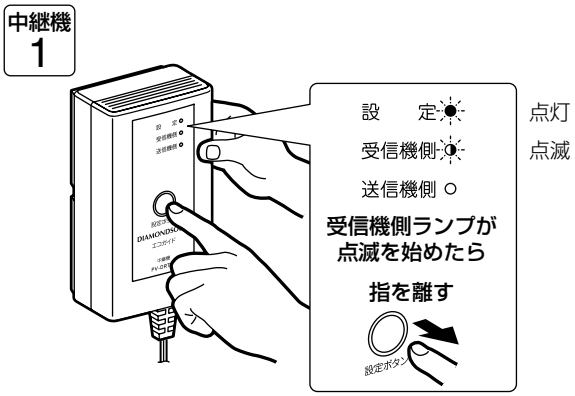
4 中継機１の電源を入れる

電源プラグをコンセントに差し込んでください。



5 中継機１を登録のための設定モードに変更する

中継機１の設定ボタンを約５秒間押し続け、設定ランプが点滅を始めたら指を離す。



6 中継機１を送信ユニット登録モードに変更する

（1）中継機１の設定ボタンを約２秒間押し続け、受信機側ランプが点滅を始めたら指を離す。
設定ランプは点滅から点灯に変わります。

4. 中継機を２台以上使用する場合　つづき

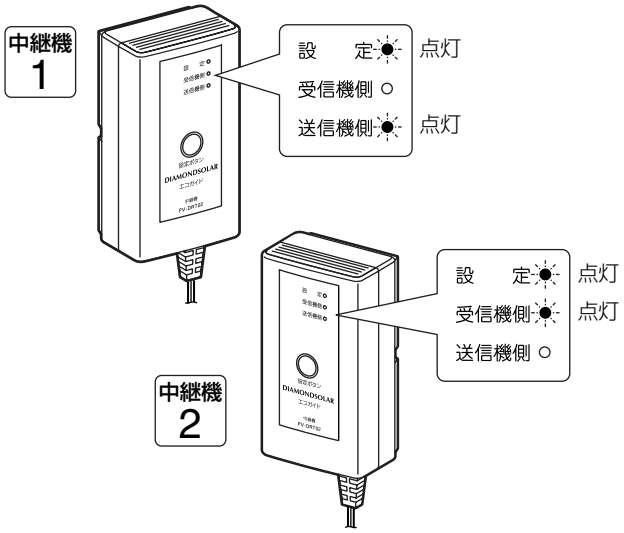
（2）中継機１の設定ボタンを再度約２秒間押し続け、送信機側ランプが点滅を始めたら指を離す

設定ランプは点灯したままで、受信機側ランプは消灯します。

7 中継機１と中継機２を登録（ペアリング）する

（1）送信機側ランプの点滅を確認し、再度設定ボタンを１回押す

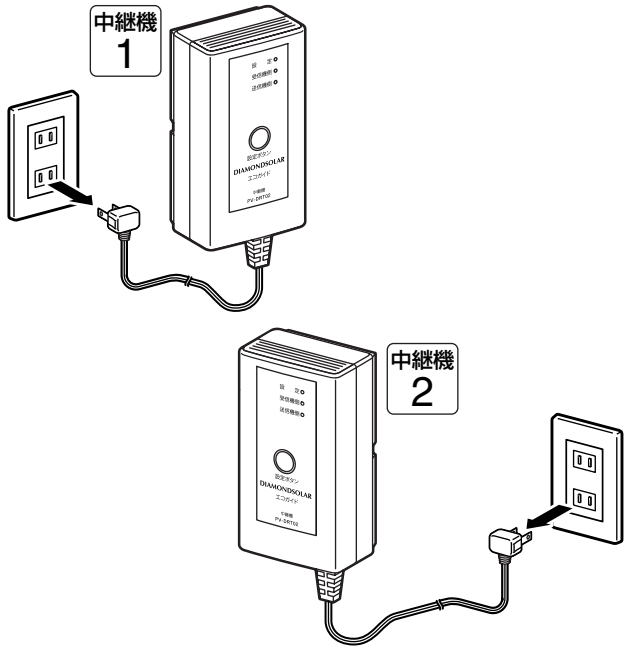
押し続けないでください。



（2）中継機１と中継機２のランプを確認する

ご注意

- **中継機１と中継機２のランプが左図のように点灯しない場合は、いったん中継機１と中継機２の電源プラグをコンセントから抜いて電源を切り、手順１から再度登録を行ってください。**

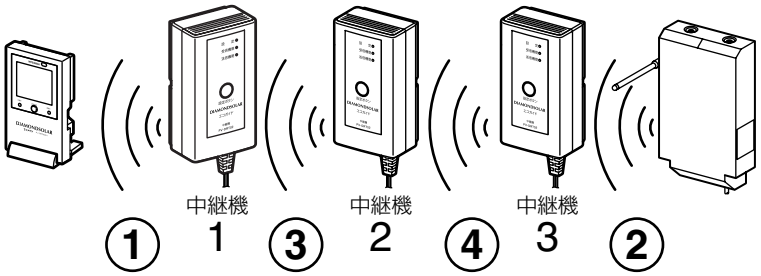


8 中継機１と中継機２の電源プラグをコンセントから抜き、電源を切る

中継機3台以上を使用する場合

受信ユニット＋**中継機（3台以上）**＋送信ユニットの場合

- 登録（ペアリング）は、まず①受信ユニットと受信ユニットに近い中継機をペアリングし、次に②送信ユニットと送信ユニットに近い中継機をペアリングします。
- ①、②の後で、③中継機と中継機の間のペアリングを行います。
  この場合、受信ユニットに近い中継機から順番にペアリングを行う必要があります。



① 受信ユニットと中継機１を登録（ペアリング） P6

② 送信ユニットと中継機３を登録（ペアリング） P8

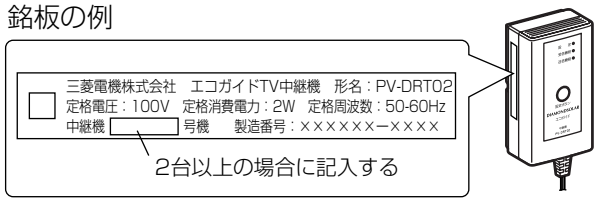
③ 中継機１と中継機２を登録（ペアリング） P14

④ 中継機２と中継機３を登録（ペアリング） P14

ご注意 **中継機の番号付け**

- **受信ユニットに近い順に登録（ペアリング）して設置するため、順番を間違えないように、あらかじめ中継機に番号を付けてください。**
  ※中継機側面の銘板にマジックなどで番号を書き込むと分かりやすいです。

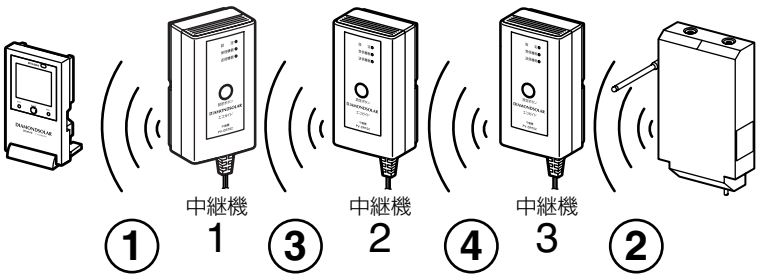
銘板の例

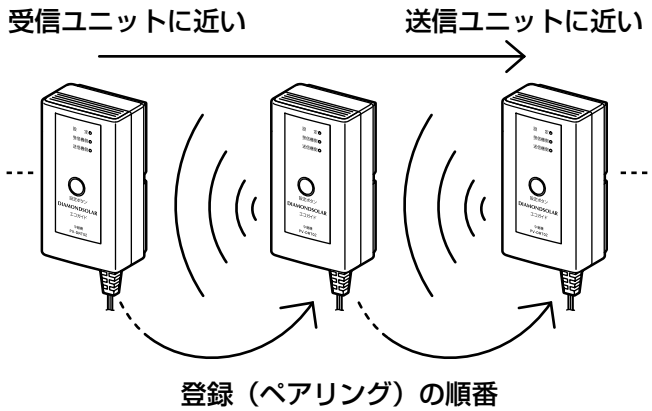


銘板の位置

- **登録を実施する際は、確実に電波が届く距離（同室内2m程度）で実施してください。**
- 中継機の登録（ペアリング）には順番がありますが、手順は同じです。
- 中継機の設置は最大で５台です。

３台使用のイメージ図と登録（ペアリング）の順番





登録（ペアリング）の順番

① **P6~P7** を参照して
受信ユニットと中継機１を登録（ペアリング）する

② **P8~P10** を参照して
送信ユニットと中継機３を登録（ペアリング）する

③ **P14~P16** を参照して**中継機１と中継機２を登録（ペアリング）する**

④ **P14~P16** を参照して**中継機２と中継機３を登録（ペアリング）する**

ご注意

- **中継機間の登録（ペアリング）は、受信ユニットに近い側（番号の若い順）から行ってください。**
- **中継機を４台あるいは５台使用する場合は、手順 ③ の中継機の番号をひとつずつずらして読み替えながら登録（ペアリング）してください。**

登録（ペアリング）が完了したら、
動作確認 P11 を行ってください。

ご使用方法

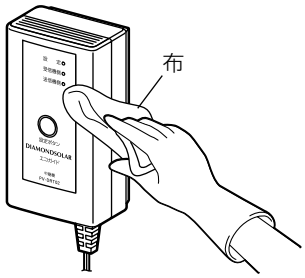
通常は電源プラグをコンセントに差し込んだままお使いいただき、操作などの必要はありません。
中継機の台数を変更したい場合は、お買い上げの販売店様・工事店様にご相談ください。

お願い

下記の項目を守ってください。無線通信ができなくなりデータの欠落が発生し、データが正しく表示できなくなる場合があります。

- 電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 設置場所を変更しないでください。（設置場所変更の際は、無線通信が可能であることを確認してください）
- 中継機を金属、プラスチックなどで覆わないでください。

お手入れ



表面の汚れは、水またはぬるま湯に浸した布をかたくしぼってふき取り、水またはぬるま湯が残らないよう乾いた布でよくふき取ります。

お願い

次の溶剤を使用しないでください。変質・変色の原因になります。

- シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・中性洗剤・植物性洗剤など

故障かな？と思ったら

症　状	原因・処置	
中継機の受信機側・送信機側ランプが点灯しない	中継機の構成を変更した	登録（ペアリング）が必要です。お買い上げの販売店様・工事店様にご相談ください。
	中継機の電源が入っていない	中継機の電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
	受信ユニットの電源が入っていない	受信ユニットの電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
	受信ユニットと通信ができていない	
	中継機の設置位置が受信ユニットから遠い場所に設置してある	受信機側ランプが点滅するところまで中継機を移動して設置し直してください。
受信機側ランプのみ点滅している（送信機側ランプが点滅しない）	送信ユニットと通信ができていない	分電盤内のエコガイド用ブレーカーが入っているか確認してください。
	中継機の設置位置が送信ユニットから遠い場所に設置してある	送信機側ランプが点滅するところまで中継機を移動して設置し直してください。
設定ランプが点滅している	中継機が登録のための設定モードになっています	中継機の電源プラグをいったんコンセントから抜き、再度電源を入れてください。
移設後や屋内配置変更後に通信が途切れる、または通信できない	通信する電波強度が不安定、または不十分になっている	機器間の障害物を取り除くか、距離が離れすぎていないか（10m 未満）確認してください。 ※必要に応じて中継機２、中継機３を追加してください。
通信が途切れる 通信ができない	距離が離れすぎている 機器間に障害物が存在している	
受信ユニットに「無線通信できません」と表示されている	中継機と受信ユニットの距離は近いが中継機と送信ユニットが遠い または中継機と送信ユニットの距離は近いが中継機と受信ユニットが遠い	設置場所を選定し直してください。P12
テレビ画面のリスト中に「- -.- -」が表示される	中継機の電源が切れている	中継機の電源を入れてください。
	受信ユニットの電源が数時間以上切れていた	受信ユニットの電源を切らないでください。

上記の処置を行っても解決しない場合、または上記の症状以外の場合は、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

保証とアフターサービス

■保証書

- 保証書は、この説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「引き渡し日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

保証書に定める保証期間（1年）によります

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この三菱太陽光発電システム　パワーモニターエコガイドTV中継機　PV-DRT02の補修用性能部品を製造打切り後11年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

●**故障かな?と思ったら**(18ページ)にしたがってお調べください。

- なお、不具合があるときは、ブレーカーを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●**保証期間中は**

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。

●**保証期間が過ぎているときは**

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
点検・診断のみでも有料となることがあります。

●**修理料金は**

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

●**ご連絡いただきたい内容**

1. 品　　名　パワーモニターエコガイドTV中継機
2. 形　　名　PV-DRT02
3. 引き渡し日　　年　　月　　日
4. 故障の状況　(できるだけ具体的に)
5. ご　住　所　(付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用太陽光発電システム）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、
各窓口 へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
　①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
　②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　住宅用太陽光発電システムの購入相談・取扱い方法

●三菱電機太陽光発電技術相談センター
ミツビシ　サン ハツデン

フリーダイヤル **0120-314-382**（無料）
携帯電話・PHS・IP電話対応

■ご相談対応　平 日（土・日・祝及び弊社休日以外）
9：00～12：00
13：00～17：00

三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508-8666　岐阜県中津川市駒場町1番3号
FAX (0573) 66-5659（有料）

修理窓口　住宅用太陽光発電システムの修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）

インターネット **www.melsc.co.jp**

携帯電話サイト
空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111（有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

S11A

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

仕　様

形名	PV-DRT02
外形寸法 (W×D×H)	69.5×44.5×127.5㎜
定格入力電圧	AC100V（50/60Hz）
消費電力	2W
質量	0.4kg

三菱 パワーモニター エコガイドTV 中継機保証書

出張修理

本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
取扱説明書による正常なご使用状態で、お引き渡しの日から下記の期間中に故障した場合には、お買上げ販売店にご依頼ください。無料修理をさせていただきます。

- 本書の※印欄に記入のない場合は、無効です、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- ご販売店様へ　引き渡し日、貴店名、住所、電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。
- 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。　Effective only In Japan.

三菱 パワーモニター エコガイドTV 中継機		※ 引き渡し日	保証期間 （引き渡し日より）
形名	PV-DRT02	年　月　日	1 年 間
製造番号	製造番号は側面の銘板部に記載されています。	※ 取扱販売店名・住所・電話番号	
お客様	※お名前　様		
	※ご住所　〒 電話番号		㊞ または サイン

〈無料修理規定〉

1．保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際し本書をご提示ください。
　なお、離島または離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合の出張に要する実費を申し受けます。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

（1）ご使用上の誤り、据付工事説明書に従わない当社指定外の設置、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（2）引き渡し後の据付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
（3）火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
（4）一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷。
（5）ご使用中における機器の変色、取付け面の変色。
（6）本書のご提示がない場合。
（7）本書にお客様名、引き渡し年月日、販売店名の記載のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

修理実施日	修理内容	サービス員氏名

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
  したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店へお問い合わせください。
- 機器故障に伴う機器内記録データの損失復旧は保証いたしかねますのでご了承ください。
- 本保証書記載事項は当社発行のカタログ、PR資料等の文書に優先致します。
- 太陽光発電システム機器により発生した損害は保証の対象ではありません。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号
電話番号（0573）66 − 2111（代表）

この説明書は、
再生紙を使用
しています。